



平成 27 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 鴻 池 運 輸 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 鴻 池 忠 彦
(コード:9025、東証第一部)
問 合 せ 先 広 報 ・ I R 室 長 藤 原 治
TEL. 03-6834-1690

新中期経営計画(2016年3月期～2018年3月期)の策定について

このたび、当社グループは新中期経営計画を策定いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

1. 背景

当社グループは、2013年3月期～2015年3月期を対象とした中期経営計画「エクスプレス計画 Vol.2」において、「物流の枠を越えた次世代中核事業の創出」を成長戦略として掲げ、「国内経営基盤の強化」、「グローバル展開の加速」、「M&A、事業提携の検討」という3つのテーマに全社を挙げて取り組んで参りました。その成果として、「メディカル分野」や「空港分野」といったサービスの請負に将来の成長が期待できる分野が育成されてきたほか、「鉄鋼分野」、「食品分野」といった当社の基軸事業も堅調に推移し、当社グループの成長をけん引しました。

足元の国内経済環境は、ゆるやかな景気回復基調にあるものの、少子高齢化による構造的な人手不足、円安・物価高を背景としたコスト増加といった問題から生産性向上やコスト削減はより一層求められ、また、その一方で、安全・安心や品質を求める声は業界を問わず高まっています。海外では、ASEAN圏など新興諸国が一大消費市場としてますます存在感を発揮するとともに、TPP交渉に見られるようにヒト・モノ・カネの流れのグローバル化はより広範な地域及び分野で進展するものと考えられます。

当社グループは、これらの変化を機会として捉え、事業機会の積極的な創出によって、中長期的かつ持続的な成長を遂げるべく、2016年3月期～2018年3月期を対象とした新中期経営計画を策定いたしました。

2. 基本方針

当社グループの強みは、生産工程の請負やサービスの請負など、請負を中心としたビジネスモデルにあり、それを支えるのは、世界でもトップクラスの水準で求められる安全・品質水準といった顧客ニーズに応じていく力にあります。

そして、その源泉は、顧客との長年の関係の中で培われたパートナーシップや顧客ごとの業務に対応したノウハウなど、顧客と一体となった業務運営から獲得された事業基盤にあると認識しています。

当社グループは、持続的成長に向けてこのビジネスモデルをより進化させるべく、「経営基盤の強化」と「事業機会の創造」に重点的に取り組みます。これにより、基軸分野である「鉄鋼分野」「食品分野」といった生産工程の請負分野をはじめ、より多様な分野で、より高水準な顧客価値を提供できる「価値創造パートナー」として顧客とともに成長して参ります。

また、ステークホルダーからの信頼性を持続的に向上させるためにコーポレートガバナンスの強化に努めるとともに、当社グループの経営理念である安全で安心な社会の実現への寄与のために社会的責任への取り組みも一層強化し、企業価値の向上に努めて参ります。

3. 定量目標

	2015年3月期(実績)	2016年3月期(予想)	2018年3月期(計画)
売上高	2,449億円	2,530億円	3,000億円
営業利益	93億円	105億円	150億円
自己資本利益率	6.9%	—	8.7%
配当性向	23.5%	29.8%	30%

以上

上記の定量目標に記載されている各数値は、実績数値を除き当社の経営者が現時点で判断する一定の前提および仮定に基づき算定しております。内在する仮定および状況の変化等により、実際の業績等が見通しの数値と異なることがあり得ますことをご承知おきください。

また、新中期経営計画の詳細版は、2015年6月中旬に当社ホームページに掲載予定です。

URL : <http://www.konoike.net/ir/>